

埼玉連だより

令和7年11月30日

第
76号

★発行 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 4 階 TEL・048-825-8163 (一社) 埼玉県弓道連盟

ハラスメントについて

会長 本橋民夫

毎日のようにハラスメントに係る事案がテレビ、新聞等で報道されています。内容としては、立場の上の人から下の人へのハラスメントが多くありますが、中には立場の下の人から上の人へのハラスメントも少なからずあります。注意した上司に対し、自分が犯した過ちを棚に上げて、注意の仕方が悪いとか、傷ついたと訴えたりする。上司を排除したくて揚げ足を取ったり、誹謗中傷したりする。悪意のある申告はかえってひんしゆくを買うことになります。

埼玉県弓道連盟においても、ハラスメント事案が発生している道場等は少なからずあるようで、それらの情報が投書、メール、その他いろいろな形で県連の方に寄せられております。

県連宛にハラスメント事案に関する報告通報があった場合、初動としては県連役員が対応して状況を確認するようにしております。状況確認後、他の組織にも影響を及ぼすような重大な案件、県連会員全般に影響を与えるような案件等に関しては倫理委員会を開催して審議し詳細の調査を実施して対処するようにしております。

本連盟としては、ハラスメントに対応すべくいろいろな取り組みをしております。「倫理規定」「懲戒規程」「コンプライアンス委員会規程」等を制定して規則の整備に努めるとともに、「倫理委員会」「コンプライアンス委員会」の組織を編成しており、事案発生時に組織として対処しております。また、毎年弁護士の先生を講師にお招きし、県連役員、理事及び各支部代表者の参加を得て、コンプライアンス研修会の実施による意識の高揚を図っております。これらのハラスメント防止のための諸活動の実施に関しては、ガバナンスコードにより適正に組織運営がなされていることを定期的に確認しております。

毎年実施しているコンプライアンス研修会における講師説明の内容の一部を紹介します。

『パワーハラスメントの定義は、

①優越的な、関係を背景とした言動であって
②必要かつ相当な範囲を超えたものにより
③競技者の競技環境が害されるものであり
④①から③までの要素をすべて満たすもの』
としており、当該行為がパワハラか否かの判断は、その時代の「平均的な競技者の感じ方」を基準に考える、とされています。

ここで難しいのは、「パワハラ」と「指導」の境界線ですが、次のように言われています。

①すべての注意、指導がパワハラに該当する訳ではなく、
②「客観的に見て、必要かつ相当な範囲で行われる適正な指示や指導」については、パワハラに該当しない。(ミス犯した競技者に注意や指導をすること自体は、指導上の円滑な業務遂行上一定程度許容される。)

指導する立場にある者は、何がパワハラに該当し、何が適切な注意指導として許容されるかを正しく理解して信念を持つことが重要です。

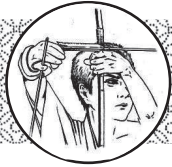
自分の言う事がパワハラに当たるのではないかと過度に恐れるあまり、指導的立場にありながら注意指導を避けることは、指導者としての指導能力を疑われるばかりか、能力不足と評価されてもやむをえません。

ハラスメント発生時には、次のことに留意して適切な処置を取ることが重要です。

①秘密を守ること ②丁寧に聞くこと
③相談者の意向を確認すること
④適宜進捗状況を知らせること
⑤プライバシーの保護を徹底すること

ハラスメントは、年代等による価値観の相違によりとらえ方が異なりますので、誰でも加害者になりうるし、誰でも被害者になりえます。

ハラスメントトラブルのない、会員が安心して弓を引ける環境を築いていきたいものです。



専門委員会だより

総務委員会

総務委員会の活動現況

委員長 二見富士夫

役員改選から約半年が経過し、手探りの状況ではありますが、業務を開始しております。

1. 総務委員会

7月13日(土)に 令和7・8年度の新体制メンバーでの第1回総務委員会をリモートで開催しました。主な審議内容は次のとおりです。

- ①総務委員会の新体制
- ②「埼玉連だより」第75号の発行合理化報告
- ③埼玉連ホームページ(HP)の現況報告
- ④文書管理システムの運用現況
- ⑤業務提要の校正作業現況

2. 「埼玉連だより」の現況と合理化検討

財政問題等検討小委員会の指摘で開始した「埼玉連だより」の合理化検討の結果、次の方針で発行を行うこととしました。

- ①発行部数削減に比べ誌面の頁数削減の方が費用削減効果が大きいため、可能なかぎり誌面の合理化を図ることとしました。
- ②頁数削減により、誌面に掲載できなかった記事に関しては、埼玉連HPの「埼玉連だより」の各号の末尾に、「HP参照データ」として掲載することとしました。

3. 業務提要の校正作業

従来、埼玉連の役員の方に印刷物を配付していた埼玉連業務提要については、印刷・製本費用削減のため、電子データで配付することとしました。併せて、各規定間の章立て、用語、表現などの統一を図ることとし、その校正作業を実施し、8月末には必要な役員に配付しました。

4. 「ねんりんピック埼玉」の準備作業

来年度に埼玉県で開催が計画されている「第38回全国健康福祉祭埼玉大会ねんりんピック彩の国さいたま2026 咲き誇れ!長寿と笑顔彩の国」(仮称:ねんりんピック埼玉)の弓道競技については、上尾市の県立武道館(現「リプロ武道館」以下同様)で11月7日から3日間開催されます。総務委員会では、この大会に係る準備作業に着手しております。

皆様のご協力をお願いする場面もあると思いますので、その折はよろしくお願いいたします。

HP 活用の現況と展望

総務副委員長 神田泰明

近年、弓道界にもデジタル化の波が押し寄せる中、埼玉連では、ホームページを通じて正確かつ迅速な情報提供を行い、組織の透明性と親しみやすさの向上に努めております。

現在のホームページでは、行事予定、大会結果、各種申請書類の案内、規約・規程類の公開など、会員の皆様に必要な情報を網羅的に掲載しています。スマートフォンからの閲覧にも配慮し、見やすさ・探しやすさ・正確さを重視した設計へと継続的に改善を重ねております。

2023年(令和5年)4月、埼玉連は一般社団法人として新たな一步を踏み出しました。それに伴い、ホームページは単なる告知媒体にとどまらず、埼玉連の理念や活動の背景を伝える「顔」としての役割を担うようになりました。倫理規程や会計情報、事業計画や役員名簿などの文書整備を通じて、皆様が安心して活動できる環境づくりに貢献することを目指しています。これらの情報は、内部向けにとどまらず、外部の方々にも埼玉連の誠実な姿勢を伝える重要な要素となっています。

今後の展望としては、各専門委員会による情報発信をさらに促進し、それぞれの行事予定や活動内容、結果を網羅的に掲載することで、県内の情報を一元的に集約していきたいと考えています。これにより、会員の関心や参加意欲が高まり、組織の活性化にもつながると確信しております。さらに、若い世代や初心者の方々にも弓道の魅力が伝わるよう、平易で親しみやすい表現や視覚的な工夫も取り入れていきたいと考えております。

弓道は、技術の習得のみならず、礼節や精神性を重んじる武道です。その価値を次世代へ継承していくためにも、ホームページは現代的な架け橋としての役割を果たすべき存在です。埼玉連の活動がより多くの方々に届き、共感と参加の輪が広がるよう、今後も皆様のお力添えをいただきながら、より良い情報環境の整備に努めてまいります。

指導委員会

就任ご挨拶

委員長 鹿野信恵

新年度より指導委員長を拝命いたしました。

重責に身の締まる思いであります。先生方のお力添えを仰ぎながら一步步務めを果たしていければと思います。

近年は価値観の多様化により、弓道を学ぶ姿勢や目標も幅広くなってきました。昇段・昇格や競技会の成績を目指して精進を重ねる方もいれば、心身の健康を大切に生涯の楽しみとして稽古を続けられる方もおります。いずれにしても弓道の持つ魅力を正しく伝え、安全で充実した環境を整えることが指導委員会の責務であると考えます。

また現代においてはコンプライアンス意識を高め、セクハラやパワハラを防ぐ事が不可欠となっております。講習会における指導においても委員一同言葉使いに配慮し、身体に触れる際には必ず一声かけるなど細心の注意を心掛けております。

会員の皆様が安心して稽古に臨めることを第一に考えて誠実な指導を実践していきたいと思っております。

指導委員会では、伝達講習会を含む年間3回の講習会を筆頭に様々な行事を開催しております。そこでの大きな目的は射技の向上と中的の充実、そして礼に即した体配の修得です。そのためには射法射技の基本に徹し、基本体型を重視しながら、正しい射法八節を実践していくことが何より大切であり、本年の指導目標でもあります。一人ひとりが着実な上達を実感できるよう講習会のさらなる充実に努めていきたいと思っております。

顧問 小澤通春先生、飯島千代子先生

浅野有三先生、坂本武彦先生

委員長 鹿野信恵（総括・会計担当）

副委員長 北原さい子先生（県連・外部講習会担当）

池谷茂先生（地方委員資格更新認定講習会担当）

委員 本橋民夫先生他 15 名

競技委員会

令和7年度前半を振り返って

委員長 町田文利

平素より、競技委員会へのご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度は役員の交代の年に当たり、競技委員会も新たなメンバーで大会運営に当たっております。運営に当たり競技委員会としては、何よりスムーズな大会運営・競技進行を目標に取り組んでいます。その中で、それぞれの委員が担当する係ごとにしっかりと業務を行うとともに、関連する係同士の連携（射場内の各係の連携、看的場内での係の連携、射場と看的場との連携）を高めることを大切にしています。5月のねんりんピック県予選兼実年者弓道大会に始まり、県選手権大会、遠的大会、県スポ中学生の部、三県選抜大会、県勤労者大会と回を重ねるたびに、よりスムーズな運営になってきたと思います。開会式から終了式まで滞りなく大会が進行することは当たり前のことですが、この当たり前を実現するためには、それに携わる大勢の役員の皆様の努力に支えられていることを痛感する半年間でした。今後さらに競技会を充実したものにするためには、参加される会員の皆様の協力も欠かせません。次の3つのことをぜひご協力ください。

①素早く集合しましょう

開始時刻はあらかじめ大会要項でご案内しています。「開会式を行います」の呼びかけと同時に審判員の先生方は真っ先に整列して待っています。参加者の皆様も素早く集合・整列してください。全員で協力して開会式の良い緊張感を作り出しましょう。

②支部担当ごとのお手伝いをお願いします

各支部の競技委員に従って支部毎の担当役割の手伝いをお願いします。

③道具の管理を徹底しましょう

大切な道具ですからお互いに気を使って迷惑のかからないように利用しましょう。くれぐれも弓矢の取り違いの無いように気をつけてください。また、大会終了後には、矢、弦巻、ギリ粉、ふで粉等、毎回忘れ物があります。道具の管理も弓道修練の一つとして心がけましょう。

国スポ選手強化委員会

滋賀国スポを終えて

委員長 古泉利昭

9月28日より滋賀県で開催された「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を終え、帰ってきたばかりでこの原稿を書いています。

今回の国スポで、成年女子チームは遠的・近的とも予選通過がならず、決勝トーナメントに進めなかったため、予選を終えた翌日の30日に、予定より2日早い帰宅となりました。



ただ、帰る日の電車を待つまでの時間、少年チームの近的決勝トーナメント、岐阜県との11対11中の1回戦(12射)やその同中競射、2対3中で勝利の瞬間、また成年女子の遠的決勝トーナメントの緊迫した勝負などを間近で見られたことは間違いなく選手自身の成長の糧になったことと思います。

最後になります
が、今回の国スポ
では、会員の皆様
に心からの応援を
いただき本当に有
難うございました。



これから少年・成年一緒に来年の青森国スポ
目指して頑張りますので、どうか応援くださ
るようよろしくお願いいたします。



審査委員会

臨時中央審査会を終えて

～前委員長 齋藤安次先生を偲ぶ

委員長 松澤かおり

会員の皆さまには日頃より審査会業務にご理
解・ご協力を賜り、深く感謝しております。

今年度より審査関係の仕事とは無縁の自分
が、審査委員会在籍16年の大ベテランの委員
長の後を引き継ぐこととなり、審査委員会の業
務を覚えるというより、まずは審査委員会の業
務とはどのようなものなのかを知ることから始
めることとなりました。

前委員長からいただいた膨大な量のファイル
はまるでマトリョーシカ人形の様に開く度に次
から次へと延々とファイルが続き、全てに目を
通すにはどれほどの時間が必要だろうかと気が
遠くなりました。また説明を聞いても何のこと
だかさっぱり解らず頭を抱える様子を見て、急
がず時間をかけて一緒にやりながら覚えていき
ましょうと前任から励まされながら審査の仕
事を始めました。三日と空ける事無く連絡を取り
合い少しずつ仕事にも慣れてきたものの、まだ
まだ初心者レベルのことしかできない状態のと
ころに臨時中央審査会の準備が始まりました。

前任と相談して今回の審査の受審対象でない
教七と錬六の先生方に運営役員をお願い致し
ましたところ、揃って快諾頂きました。本来なら
各担当の長として指示を出す立場の皆さんに現
場を担当して頂いたことで、スムーズな運営で
三日間の審査会を無事に終了できました。役員
の先生方には大変なご苦勞をおかけいたしまし
た、全てを安心してお任せすることができま
した、本当に心から感謝しております。

そんな中、8月に体調を崩され9月から検査
入院されておりました前任の齋藤先生が急逝さ
れ、未だに受け入れ難く途方に暮れております。
齋藤先生の残された軌跡や功績はこれからも審
査委員会を支えるものだと思います。

お優しい笑顔が忘れられません。心よりご冥
福をお祈り申し上げます。 合掌

女 子 部

女子大会に参加しよう！

女子部長 脇本 緑

今年度から伝統ある女子部の部長を拝命いたしました、脇本緑と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

活動は、女子大会の運営に特化しておりますが、大会参加者が参加してよかったと思える大会にすることが一番の目標です。

少し「女子」に関する数字を追ってみますと、令和6年度の総務省統計局の日本の人口1億2千380万人、うち女性が23万6千人男性より多いとのこと。一方、令和3年度の（公財）全日本弓道連盟の会員登録者数13万5千660人のうち男女比はほぼ同じとのこと。

近年、女子大の共学化が進んでいる中で、あえてその特性を活かし生き残りをかけて学部増設を決めた女子大があります。女子大は女子だけという環境に安心し学問に集中できると聞いたことがあります。ということは少し乱暴な論理ですが、女子大会も女子だけという環境に安心し、日頃より射に集中できる可能性が大と言えるかもしれません。とは言え、女子高生の半数は女子大進学を希望しないという情報もあり、女子大会も女子だけの大会ってどうなのと疑問に思われる方も一定数いらっしゃるかと存じます。

例えばバレエや日舞の群舞は、衣装や振付が揃って美を生み出します。弓道も一般的に男女で袴の型が異なり、着物着用時は肌脱ぎと襷掛けと所作が異なることを思うと、同じ装い、同じ所作で揃ってしっかり競技を進行すれば、女子大会はさらに調和の美を醸し出すものとなるのではないのでしょうか。是非体现したいものです。弓道人口の男女比がほぼ互角の中で、男子大会は存在しないのに女子大会が開催できるという環境に感謝いたしましょう。

関係各位のご指導ご鞭撻を賜りながら、女子大会を成功させるべく、円滑な部の運営に微力ながら尽力する所存です。女子の皆様、どうぞ奮って女子大会にご参加ください。女子部員一同、揃ってお待ちしております。

高 体 連

令和7年度前半を振り返る

委員長 坂本 修

日頃より弓道連盟の皆様には、高体連弓道専門部の活動に対しまして、多大なるご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和7年度の上半期に行われました上位大会においても、埼玉県勢が優秀な成績を収めてくれました。

6月に行われました関東大会において、男子団体で坂戸西が3位に入賞しました。また、男子個人において、正智深谷高校の窪田選手が2位に、女子個人において、鳩ヶ谷高校の大熊選手が3位に入賞しました。

8月に行われました全国高校総体において、男子団体で坂戸西高校が準優勝、女子個人において、草加西高校の葛西選手が7位に入賞しました。坂戸西高校は関東大会に続く入賞、葛西選手も昨年の関東選抜に続く入賞であります。

また、8月に行われました国スポ関東ブロック大会において、少年男子が近的1位、遠的2位、総合1位ということで通過いたしました。少年女子は残念ながら通過とはなりませんでしたが、総合4位ということで大健闘したことを付け加えておきます。

9月に行われました関東個人選手権において、男子3名、女子1名が入賞いたしました。

7月23日(水)に高体連主催の顧問研修会を開催しました。講師は、元青森県高体連弓道専門部委員長で、現在は八戸学院大学弓道部監督の志村博先生をお迎えしました。午前の講義においては、技術指導のほか、道具の管理について、更にはアンガーマネジメントについてということで、多岐にわたりお話いただきました。

午後は実技指導ということで、生徒や顧問の射癖の矯正について、指導いただきました。

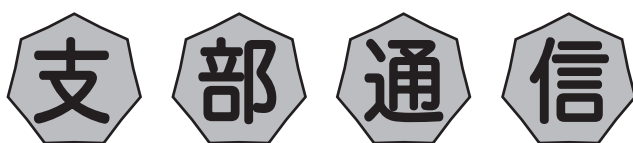
お忙しい中、講師を快諾いただきました志村先生に対しまして、この場を借りてお礼を申し上げます。

最後になりますが、今後とも連盟の皆様のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

各大会結果の詳細は「HP 参照データ」

大会・射会入賞記録

- 第 148 回明治神宮奉納遠的弓道大会
 - 第 37 回埼玉県実年者弓道選手権大会兼全国健康福祉大会（ねんりんピック）県連予選会
 - 埼玉県弓道選手権大会（称号者の部）
 - 埼玉県弓道選手権大会（有段者の部）
 - 全日本選手権関東ブロック予選及び関東選抜選手権 2 次選考会
 - 第 72 回全日本勤労者弓道選手権大会
 - 第 37 回埼玉県弓道遠的選手権大会
 - 第 24 回明治神宮崇敬会全国弓道大会
 - 第 68 回三県選抜弓道大会
 - 令和 7 年度全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会
 - 第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会
 - 第 63 回埼玉県勤労者弓道選手権大会
 - 第 66 回関東地域弓道選抜選手権大会
 - 令和 7 年度全日本弓道選手権大会
 - 第 79 回国民スポーツ大会
 - 第 61 回全日本女子弓道大会（東日本の部）
 - 第 38 回埼玉県民総合スポーツ大会
 - 第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜 2025
 - 第 76 回全日本弓道遠的選手権大会
- 各大会の詳細は「HP 参照データ」



秩 父 支 部

支部長 町田 文利

連盟の近況と問題点について

秩父市弓道連盟会長 藤井武政

令和 7 年度より秩父市弓道連盟会長に就任しました。よろしくご指導をお願いいたします。

当弓連の近況と問題点についてお話しします。

初めに近況ですが、当連盟は市内三つの道場で構成されております。構成年齢は高齢化が進む一方で若い仲間も増えてはいますが、依然と

して総会員数は減少しており現在 47 名となっております。中には道場には所属しているが市弓連の会員にはなっていない潜在的な弓道愛好者もいるようです。この人たちをいかに会員に取り込むかが課題と思っております。

会員数が少ない中でも射会・講習会を開催し会員のレベルアップにつながるよう次の事業を行っています。

5 月に近的遠的選手権、7 月～8 月に市民弓道教室（9 日間）、9 月に市民弓道大会（今年は第 70 回）、10 月に姉妹都市豊島区秩父市交流親善射会及び市弓連講習会、2 月に立春懇親射会、この他に道場の除草清掃、安土の整備等の支部の事業への積極的な参加をしております。

次にもう一つの問題点ですが、秩父市第一弓道場の現状についてお話しします。当道場は平成 22 年に完成した近的射場と遠的射場を併設した道場です。築後 15 年が経過したこの頃は、道場のあちこちで経年劣化による折戸の不具合や遠的射場の防矢ネット用ワイヤーの錆発生、断裂等々が発生しており、練習や大会等の行事に支障が起きております。これについては市当局にお願いし、早期の改善を要望しております。近的遠的射場共に市外の皆様の使用を受け付けておりますので是非ご連絡ください。

<競技・講習会>

●第 1 回支部カップ戦

令和 7 年 6 月 1 日(日) 秩父市第一弓道場
参加 85 名

- 中学生①星 愛花②新井柚希③坂本芽瑠乃
- 高校男子①内田光弥②黒澤慶悟③引間晴哉
- 高校女子①黒田陽依②戸田あゆみ③飯塚怜奈
- 一般男子①藤井武政②丸山康弘③若林武司
- 一般女子①井上美根子②山科くるみ③齋藤由美子

●第 2 回支部カップ戦

令和 7 年 7 月 13 日(日) 秩父市第一弓道場
参加 74 名

- 中学生①加藤悠磨②原島陽希③村山琴音
- 高校男子①清水 空②馬飼野元紀③黒澤慶悟
- 高校女子①福島和葉②井上亜優③相馬花音
- 一般男子①丸山康弘②三橋正博③若林武司
- 一般女子①藤野かずき②山科くるみ③酒井三佐子

●第3回支部カップ戦（近的・遠的選手権）

令和7年9月17日(日) 秩父市第一弓道場

参加33名

近的の部 ○一般男子①石田徳光②町田文利③内田 翼 ○一般女子①酒井三佐子②内田藍菜③齋藤由美子

遠的の部 ①内田 翼②野沢 匠③町田文利④内田藍菜

●支部寿射会

令和7年6月29日(日) 皆野町弓道場

参加19名

①加藤喜久夫②石田徳光③酒井三佐子

●支部四段以下講習会

令和7年6月22日(日) 秩父市第一弓道場

参加10名 講師：秩父支部指導委員

県 北 支 部

支部長 中島 勇

上半期を経過して

支部長 中島 勇

支部の行事では熱中症対策とハラスメント防止の2点をお話するのが日常になりました。

さて、県北支部カップ戦において、熊谷チーム（関口・関口・三澤）が3連覇を達成。同一メンバーでの達成は、高的中を継続できるだけの日頃の練習・努力の賜物と思います。参加選手みんなの賞賛とチョッピリくやしさを両方感じた瞬間でした。

●自分ではできているのか？

支部の講習会などで柄でもない講師になると、さも分かったように言っている自分にハッとしします。他人に言っておいて自分ではできているのか？疑問に思うのです。県連の講習会では、言われていることが、自分が他人に言っていることそのものだったりして、あ～自分はまだまだだと悩むんです。

支部長1年生としては、まだまだで当たり前と、良い意味で開き直って進みたいと思います。

<競技・講習会>

●第1回支部カップ戦

令和7年7月13日(日) 行田総合公園弓道場

参加104名

○団体 ①熊谷A(関口尚人・関口淳子・三澤一夫)②行田A(島崎崇光・山田洋史・青木 豊)

○一部 ①島崎崇光(行田)②生見和子(本庄)

③青木 豊(行田) ○二部 ①関口尚人(熊谷)

②佐藤 聡(本庄)③堀江匡明(鴻巣) ○

三部 ①土屋郁代(行田)②坂本温見(武道館)

③鈴木洋晃(羽生)

●第2回支部カップ戦

令和7年8月17日(日) 本庄市弓道場

参加105名

○団体 ①熊谷A(関口尚人・関口淳子・三澤一夫)

②熊谷C(長井敦史・小室孝文・荘子宏幸)

○一部 ①岡芹喜行(本庄)②若林孝子(本庄)

③衣袋秀男(寄居)

○二部 ①関口尚人(熊谷)②長井敦史(熊谷)

③石原邦浩(鴻巣)

○三部 ①齋藤花怜(寄居)②小板橋康利(武道館)

③新井美穂(行田)

●第118回県北支部高等学校弓道大会

令和7年8月27日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加 男子103名、女子133名 14校

○団体優秀校 男子：正智深谷

女子：羽生第一

○男子個人 ①石川瑠空(深谷第一)②小池大輝(熊谷農)

③森山琥太郎(正智深谷)

○女子個人 ①高橋咲葵(本庄)②眞部結衣(羽生第一)

③山崎つぐみ(熊谷農)

●第1回支部講習会

○参段・四段 令和7年4月26日(土)

行田市総合公園弓道場 参加15名

主任講師：飯島千代子範士

○初段～四段 令和7年5月14日(水)

寄居町アタゴ記念館弓道場 参加12名

主任講師：岡芹喜行教士

○初段～参段 令和7年5月25日(日)

深谷市総合体育館弓道場 参加11名

主任講師：茂木昭夫教士

●第2回支部講習会

○参段・四段 令和7年7月19日(土)

本庄市弓道場 参加13名

主任講師：高橋久雄教士

○初段～四段 令和7年7月24日(水)

寄居町アタゴ記念館弓道場 参加7名

主任講師：飯島千代子範士

○参段・四段 令和7年7月27日(日)
本庄市弓道場 参加17名
主任講師：岡芹喜行教士

●第3回支部講習会

○参段・四段 令和7年8月23日(土)
熊谷運動公園弓道場 参加16名
主任講師：廣松 弘教士
○初段・弐段 令和7年9月7日(日)
行田市総合公園弓道場 参加25名
主任講師：北原きい子教士

東 部 支 部

支部長 仲田 孝雄

悪い癖を直して成長する楽しみ

支部長 仲田孝雄

悪い癖を直すことは減点をなくすことで、悪い癖が直れば、普通になるどころか、評価アップ、印象もアップへと繋がっていくものだと思います。行射、体配においてもそうで、品格と落ち着きが伴う実践躬行へと取り組んでいけます。

癖直しは大変ですが、先ず自分自身でスマートに生まれ変わりたいと強く想うこと、それが大切なスタートラインでしょう。自分は出来る！と信じることが改善への道筋であると考えます。癖は、自分自身の習慣的動作に過ぎないものですから、きっと直るものです。

競技会は一定の規則の中で技の優劣を競うものです。その結果は、努力しても報われるとは限りませんし、相手次第で結果は変わるものです。でも、悪癖改善は、病気の癖を除いて100パーセント自分次第です。己の意識と努力がすべてだと思います。

私が取り組んでいることを書き出してみます。
○癖を我慢できたら、きちんと自分を褒めます。
○直すことは本来面白いこと、出来るとさらに面白くなります、うれしくなってくるもので、また頑張れます。

○悩んでいるうちは大丈夫、悩まなくなったら終わりと思い、こだわり、拘りぬいていく。

○公言して有言実行、本気なら公言できます。

公言したからと言って直るものではないですが、少なくとも決意と覚悟が生まれます。

○書き出して自覚、日々記録をとっています。

○期限を定め取り組みます。具体的には3週間はかかると思います。その間に1000本以上試してみます。

悪い癖を直すことは成長することだと思います。完全に直し、なくすことでなく、半分

でも直せたら大きな改善変化が現れると思います。楽しいことです。

<競技・講習会>

●支部選手権大会兼県民スポーツ大会予選会

令和7年8月3日(日) 大宮公園弓道場
参加105名 ①仲田孝雄②前澤梨江③石塚秀逸
県民総合スポーツ大会出場選手を称号者の部と有段者の部で各3チーム(3人立)を選出

●県南支部・東部支部高校生弓道大会

令和7年8月23日(土) 大宮公園弓道場
参加 男子174名女子267名 計441名
○男子団体②久喜北陽A③伊奈学園総合C
○女子個人③澤村友結(蓮田松韻) ○男子個人技能優秀賞 門井蒼汰(伊奈学園総合) 鈴木爽太(春日部東) 村上 漣(伊奈学園総合)
○女子個人技能優秀賞 鈴木 悠(春日部女子) 森田乙羽(春日部女子) 竹内美羽(栗橋北彩) 斎藤夕楓(桶川)

●支部道場対抗戦兼県武道大会選考会

令和7年9月14日(日) 県立武道館
参加112名 道場対抗戦①久喜 ②桶川 ③春日部 団体戦①幸手A ②上尾A ③春日部A 個人優勝カップ獲得:富永剛志(上尾) 個人競技(団体競技入賞者を除く)①松本瑞世(北本) ②木村鷹士郎 ③末廣典明(久喜) 埼玉県武道大会出場者男女各5名を選出

●第1回講習会(一般の部 四段以下)

令和7年4月27日(日) 北本市体育センター弓道場 参加62名(午前・午後分割開催) 講師:北原きい子、仲田孝雄 各教士 内容:一手行射、段位ごと取り組み内容説明、射技指導

●第2回講習会(一般の部 四段以下)

令和7年5月31日(土) 大宮公園弓道場 参加40名 講師:大上直美、村上節子 各教士、新井 満、大槻良雄 各錬士 内容:行射の留意事項、弓具の取り扱い、肌脱ぎ、襷かけ、審査方式、射技指導、仕上げ行射

●第3回講習会(高校生の部)

令和7年8月19日(火) 県立武道館弓道場 参加104名(午前・午後分割開催) 講師:村上広子、村上節子 各教士、細野隆志、吉丸寛、麻生とし江、大槻良雄 各錬士 内容:1年生・執り弓の姿勢、入退場、矢番え動作、2年生・行射指導

●第4回講習会(一般の部 四段以下)

令和7年9月20日(土) 県立武道館 参加48名 講師:村上広子、富永剛志 各教士、脇本 緑、二見富士夫 各錬士 内容:審査方式・体配説明、射技指導、仕上げ行射

県 南 支 部

支部長 鹿野 信恵

地域に根ざした活動を目指して

草加市弓道連盟 小谷敏明

草加市弓道連盟が活動拠点としている草加市は、古くから日光街道の宿場町として栄えた町であり、松尾芭蕉の「奥の細道」で最初に登場する宿場町でもあります。芭蕉が句を詠んだ草加松原の松並木は、今も江戸時代の風情を色濃く残した景勝地となっています。

草加といえば何といても「草加煎餅」が有名ですが、近年では、賑わいと地域再生を目指したイベントとして「草加ふささら祭り」が盛大に開催されています。

♪二人寄り添いふささらさいさい・・・

と軽妙に歌われる「草加音頭」と共に、草加ふささら祭りは、隠れた人気を呼んでいます。

(注)「ふささら」とは、稲穂が風にさらさらそよぐ様を表しており、明日に向かう活力と豊かな実りの象徴でもあります。

草加市では、この草加ふささら祭りにちなんで毎年秋に「草加市民体育祭・草加ふささら弓道大会」を開催しており、草加市弓道連盟は、その共催団体として、大会の企画・運営を担っています。そして、この大会は例年、草加市内の弓道愛好家、高校弓道部をはじめ県南支部の各弓道連盟からも多数の参加を頂いて、盛大に開催されています。

昨年の草加ふささら弓道大会は、令和6年10月27日(日)に、草加市スポーツ健康都市記念体育館（現：エネクルスポーツアリーナ SOKA）弓道場で開催されました。

以下その様子をご紹介します。

大会当日は天気にも恵まれ、朝早くから多くの参加者が体育館の玄関前に集合しています。久々に再会する弓友との弓道談義に花が咲き、これも大会の楽しみのひとつとなっています。受付を終えて3階の弓道場に行くと、すっかり準備が整っています。安土には草加市章の幕と、草加ふささら弓道大会の横断幕が掲げられています。（皆でデザインした横断幕です）

大会には草加市長山川百合子様のお臨席を賜り、開会式と当連盟大川会長による矢渡しに引き

続き、いよいよ競技の開始です。

草加の弓道場は元々五人立ですが、この日は3人立2射場として運用し、坐射一手1回、立射四矢1回の計6射で行われました。

秋晴れの爽やかな日差しの下、弦音が響く静謐な空気の中で、総勢112名が日頃の鍛錬の結果を披露します。来賓の山川市長もその様子を熱心に見守っておられました。



競技はお昼を挟んで午後も行われ、その結果、当連盟の二松選手が優勝となりました。

競技のあとは、上位入賞者による納射、そして閉会式（表彰式）と続きますが・・・

そこでお楽しみの入賞賞品は？

もちろん「草加煎餅」です！

実は草加煎餅は、お店によってそれぞれ様々な特徴があり、草加市民の多くは各人が「推し」のお店を持っています。このため、どの煎餅を賞品に出すのか、決めるのもひと苦労なのです。（煎餅を柔らかくした離乳食で育った人もいるぐらい、草加市民にとって草加煎餅は思い入れが深いのです）

そんなわけで、入賞賞品の草加煎餅は、当連盟の会員が例年激しい議論の末に「今年はこれ！」と納得した品を出していますので、どうかその点も草加ふささら弓道大会の隠れた楽しみの一つとしてご期待ください。

草加市弓道連盟は、このような大会の運営をはじめとして、地域に根ざした弓道の振興・普及を目指しながら、会員一同が日々、厳しくも楽しい活動を行っています。

今年の草加ふささら弓道大会は、11月2日に開催予定ですので、この号が刊行される頃には、当連盟ホームページに大会の様子が掲載されていると思います。是非ともそちらの方もご覧いただけますと幸いです。どうかよろしくお願いいたします。

草加市弓道連盟ホームページ

<https://sokakyudo.jimdo.com>

＜競技・講習会＞

●令和7年 県南支部選手権大会

令和7年6月1日(日) 大宮公園弓道場

参加 97 名

個人：①鈴木多恵子（吉川）②水元靖子（川口）
③大西三枝子（越谷）

●県南東部高校選手権

令和7年8月23日(土) 大宮公園弓道場

審判員協力 木本将史教士、衛藤由美子錬士

●令和7年度 第1回講習会 参・四段の部

令和7年5月3日(日) 大宮公園弓道場

参加 23 名 講師：谷口保雄、宮澤梢枝 各教士

●令和7年度 第1回講習会 貳段以下の部

令和7年5月4日（月祝） 大宮公園弓道場

参加 55 名 講師：坂本 恵、鈴木多恵子 各教士、五十川英俊 落合正規 各錬士

●令和7年度 高校生講習会

令和7年8月10日(日) 大宮公園弓道場

参加 78 名 講師：森 正一、稲見三枝子 各教士、藤井澄恵、郡司 勉、森 俊人、大野宏之 各錬士

令和7年8月11日（月祝） 大宮公園弓道場
参加 45 名 講師：木本将史教士、二宮三千子、佐々木睦美、五十川英俊、星野里美、落合正規 各錬士

●令和7年度 第2回講習会 参段以下の部

令和7年9月21日(土) 大宮公園弓道場

参加 33 名 講師：木本将史教士、五十川実千恵錬士

県 央 支 部

支部長 軽込 次男

先生方の教を胸に刻んで

さいたま市記念総合体育館彩弓会 山崎孝美

昨年の8月からこの1年間で、彩弓会に所属され、顧問としてご指導・ご助言をいただきました三人の先生方がご逝去されました。

昨年8月に小川 久先生、今年2月に岡田義助先生、そして6月に池田邦子先生です。

ここに先生方のご冥福をあらためてお祈り申し上げます。

小川先生は彩弓会最年長の先生でいらっしゃいました。90歳を超えてからも、しばらくは道

場にお見えになって、お元気でご指導くださいました。

岡田先生は、昨年末に彩弓会が日本武道協議会から「武道優良団体表彰」を受けることをご報告したところ、大変喜んでくださいました。しばらくすれば必ずお元気になられて、また道場でご一緒できると信じておりました。本当に残念でなりません。

池田先生は彩弓会が発足した当時、全弓連の副会長をなさっておられて、たいへんご多忙のご様子でした。そのような中でも、平成16年に彩弓会で催していただいた私の教士昇格祝射会に、先生がご出席くださいましたことは、身に余る光栄でした。ご高齢になられてからは道場にお見えにはなりませんでした。池田先生が彩弓会の顧問でいらっしゃる事が会員にとって誇りでありました。

先生方がいらっしゃるなくなって、あらためて先生方からいただいたご指導がいかに貴重なものであったかを実感しております。会員一同、先生方からの教を胸に刻み、今後も日々精進を重ねていく所存です。そして、先生方が礎を築かれた彩弓会を、会員全員で発展させていきたいと思ひます。

＜競技・講習会＞

●県民総合スポーツ大会選手候補者選考会

令和7年6月28日(土) 大宮公園 参加 64 名

令和7年8月9日(土) 県立武道館

参加 66 名

令和7年8月24日(日) 県立武道館

参加 74 名

以上により 18 名の選手を選出

●武道大会選手候補者選考会

令和7年7月20日(日) 大宮公園 参加 64 名

令和7年8月24日(日) 県立武道館

参加 61 名

●第1回さいたま市遠的大会（仮称）

令和7年8月9日(土) 県立武道館 参加 76 名

○男子 ①中村光広②町田智行③小屋 裕

○女子 ①山岸繭子②小野千絵美③鏑間恵美

●夏季高校生（中学生）大会

令和7年8月24日(日) 大宮公園 参加 510 名

○団体男子①岩槻商業 A（下山・渡部・長谷川）

②浦和 A（喜田・上岡・吉田）③浦和北 B（花塚・

大木・橋本）○団体女子①大宮東 A（岡本・荒

田・古澤）②大宮光陵 A（山岸・高橋・加藤）③

浦和学院 A（林・澤・山際）○個人男子①上岡

直起（浦和）②渡部 晴（岩槻商業）③大木陽向（浦和北）○個人女子①佐藤瑞季（岩槻商業）②大内彩羽（浦和西）③金澤理央（大宮）○中学生の部①岡本紗季（市立浦和）②篠崎和登（市立浦和）③村松美波（市立浦和）

●参段以下講習会

令和7年4月12日(土) 大宮武道館

参加 37 名 講師：松澤かおり、軽込次男、竹内せき子 各教士 講習内容：一手行射、基本動作・体配の指導、射技解説、射技指導

●参・四段講習会

令和7年4月13日(日) 大宮武道館

参加 20 名

講師：廣松 弘、清水繁子、飯嶋 功 各教士 講習内容：矢渡、一手行射の講評と射術について、射技指導、四段のみ着物捌き、締めの一手指射

●称号者（錬六）講習会

令和7年4月29日（火祝） 大宮武道館

参加 15 名

講師：石川武夫、浅野有三 各範士

講習内容：矢渡講評、一手行射及び個別講評、石川先生講話及び実演、一つの射礼、射技指導

●称号者（教士・錬六）講習会

令和7年6月1日(日) 大宮武道館

参加 17 名 講師：柴田 猛範士、松澤かおり 教士

講習内容：矢渡、一手行射、全体と個別講評、柴田先生による射技解説と模範射技、代表者による一つの射礼、射技指導

●称号者（錬五）並びに五段講習会

令和7年7月6日(日) 大宮武道館

参加 19 名 講師：飯島正大範士、松澤かおり 教士

講習内容：矢渡（介添なし）、「正射必中の五か条」、個別講評、射技指導、飯島先生による講話並びに模範射技、仕上げの一手行射

●四段以下講習会

令和7年9月7日(日) 大宮公園 参加 50 名

講師：平野博幸、池田浩次、竹内せき子、片岡一子 各教士 講習内容：一手行射と平野先生による総評、初・弐段と参・四段に分かれて射技指導と講話、仕上げの一手行射

西部支部

支部長 池谷 茂

三芳町弓道連盟の活動現況

三芳町弓道連盟 加藤憲男

周りを所沢市、川越市、ふじみ野市、志木市、富士見市、新座市に隣接している三芳町で活動が続いている三芳町弓道連盟は、令和7年に44周年を迎えます。

以前は近隣弓道愛好家を招待して三芳町弓道大会を開催しておりましたが、連盟員の高齢化に伴い連盟のみで10月に連盟記念大会を開催しております。

毎年初心者弓道教室を5・6月に実施しておりますが、今年度は教室後に中学生5名を含め9名の入会者がありました。現在その9名のフォロー指導を毎週土曜日と日曜日に実施しております。全員が弓道に対し前向きで指導するのにやりがいがあり今後が楽しみです。

連盟射会は、毎月実施しておりますが全員が幹事になる為、担当月になるまでそれぞれが、介添練習を実施して本番に臨んでおります。

又、埼玉弓連指導委員会の先生にお願いし連盟独自の講習会も実施しております。連盟では参段を取得すると和服着用で射技のみならず肌脱ぎ、襷掛け練習も行っております。

連盟員は、50名弱と小規模の連盟ですが、全員一丸となり絆を深めているためコンプラ問題も発生しておりません。

全弓連が掲げる弓道人口増加に対して今後も邁進していきたいと思います。

<競技・講習会>

●県遠的選手権支部選考会

令和7年5月31日(土) ふじみ野市立スポーツ

センター弓道場（遠的場） 参加 39 名

当日不参加者を含め、以下の人数を選出

○五段以上の部 男子 10 名、女子 7 名

○四段以下の部 男子 10 名、女子 12 名

●中部・西部支部親善射会

令和7年6月28日(土) ひだかアリーナ

西部支部参加 116 名

②青田 昇（朝霞）

●読売新聞さいたま支局杯争奪弓道大会・寿射会・県スポ予選会

令和7年8月24日(日) 所沢市民武道館

参加180名 団体50チーム

○読売杯 ①下田 徹(所沢)②武田健太郎(朝霞)③河島郁子(ふじみ野)④難波 亮(和光)⑤出下晃一郎(朝霞)

○寿射会 ◇寿A:①出下晃一郎(朝霞)②内野里子(新座)③池谷 茂(ふじみ野)④遠藤絹(志木)⑤花房実美(朝霞) ◇寿B:①下田 徹(所沢)②甲斐久歳(所沢)③原 彌八郎(所沢)④藤澤和子(富士見)⑤山崎文男(富士見)

○県スポ大会予選通過チーム ◇有段者の部:朝霞C(武田健太郎、曾我雄介、花房実美)所沢L(澤田靖子、深見恵子、田中明子)ふじみ野D(河島郁子、笛木由架、村山貴彦) ◇称号者の部:所沢I(関口研二、中村康代、下田 徹)所沢H(三好啓子、嶺 美智子、甲斐久歳)富士見A(藤澤和子、小原純子、平塚雄一)

●支部選手権大会兼県武道大会選手選考会

令和7年9月15日(月) 所沢市民武道館

参加166名(団体45チーム135名、個人4名、中学生27名)

○支部選手権 ◇団体戦:①富士見B(島田 茂、福岡達紀、京田元志)②所沢H(安江仁美、森下珠美、奥富季乃)③志木D(大塚俊雄、高梨宏夫、平船栄治)③所沢F(田中明子、関口純子、安立倫生) ◇個人戦:①大塚俊雄(志木)②宮本星(ふじみ野)③山崎文男(富士見)④下田 徹(所沢)⑤小山 等(所沢)

○県武道大会出場選手 ◇男子:大塚俊雄(志木)、大島和馬(三芳)、拮石秀敏(和光)、高梨宏夫(志木)、飯尾 弘(所沢) ◇女子:宮本 星(ふじみ野)、橋本夕夏(所沢)、松高桂子(新座)、室町純子(志木)、吉田沢美(朝霞) ◇中学生:吉田一晴、高橋ひかり、戸住舞海、杉本絢命、佐久間しず、高橋蓮妃、大村羽月、高原かの、鎌田悠生、山本佳穂

●第1回講習会

令和7年4月27日(日) 朝霞市内間木公園弓道場 参加30名(式段まで)

講師:池谷 茂、平山夏子 各教士

令和7年4月27日(日)

三芳町弓道場 参加33名(参・四段)

講師:市川政子、出下晃一郎 各教士

●第2回講習会(式段まで)

令和7年6月1日(土)ふじみ野市立スポーツセンター弓道場 参加31名(式段まで)

講師:本橋民夫、斎藤和子 各教士

令和7年6月1日(土) 富士見市立市民総合体育館弓道場 参加31名(参・四段)

講師:平野博幸、松寄恭子 各教士

●高校生夏期講習会

令和7年8月6日(水)

所沢市民武道館弓道場 参加24名

講師:池谷 茂、室町純子 各教士

(体配・審査の間合いでの入退場等指導)

●第3回講習会

令和7年9月21日(日) 富士見市立総合体育館弓道場 参加24名(式段まで)

講師:岡芹喜行、松高桂子 各教士

令和7年9月20日(土)

朝霞市内間木公園弓道場 参加32名(参・四段)

講師:千葉 公、北濱すみえ 各教士

(講習会内容:一手行射・講評・射技指導等)

中 部 支 部

支部長 那須充良

弓道一生涯の供と出会えて

支部長 那須充良(教士六段)

今春、役職定年ぎりぎりの79歳で、支部長を引き受けました。ぼくの日々に生気を吹き込んでくれている弓道と、お世話になった先輩方への恩返しです。



弓歴を記して、自己紹介とします。

審査申込書では36歳の時、前橋市の初心者教室で弓道をはじめた、としています。前史があります。その4年前、たまたま所沢の道場で弓道を目にして、求めていたのはこれだと、直観しました。大学は水泳部で、武道への憧れがあったのです。

まず用具を揃えるべきだろうと考え、浦和の弓道具店で、竹弓・竹矢・矢筒・磔・道着を買いこみ、勇んで稽古に行きました。ところが、はじめるなら来年春の初心者教室に入って下さいと、一蹴されてしまいました。ゴルフの練習とおなじように考えていたための失敗です。やむなく、巻藁を購入し、本を頼りに庭で自学自習していました。よく事故をおこさなかったも

のだと、思い出すたびにゾクっとします。

結局、正式な弓道のはじめは、前橋市に転勤した昭和 56 年、5 月の教室になりました。その年の秋に初段、以降、毎年秋に昇段して、4 年で四段を取得しました。4 年目は、東京の池袋に転勤していましたので、豊島区弓連です。

夜に稽古をしていたのですが、世話役の五段の方が、若い女性と駄弁ってばかりいて嫌気がさし、仕事の責任が重くなっていたこともあり、3 年で退会してしまいました。以来、10 年間休止しましたが、52 歳の時、熊谷市弓連に入会して再開しました。当時は、居住する東松山市に弓道場がなかったのです。

再開した翌々年、五段に昇段しています。熊谷では、松沢範士が午後 2 時から 4 時ごろに稽古されていたので、ぼくもそのところに行っていました。松沢先生は稽古では指導されないので、帰りの拝礼をされるのを取懸けたまま待っていると、教えてオーラを察っしられて、必ず一手、見て下さいました。

県北支部には五段の錬望会があり、毎月一度、講師を招いて研修会を開催していました。熊谷市弓連の会長を長く務めている手嶋さんが会長、ぼくが事務局長です。60 歳の時、錬士に昇格しましたが、途絶えていた錬士会を再開し、手嶋さんと役職も継続していました。

そのころは会社社長で、自宅に陶芸工房を構え、蕎麦打ち式段（最高位五段）を取得し、支部の会計兼 IT 担当も引き受けていました。たいへんだったことは一度もないのですが、よくやっていたなど、今にして思います。

67 歳で、東松山市弓連の会長を引き受け、転籍して、現在に至ります。

市弓連では、毎年 5 月に「箭弓稲荷神社奉納弓道大会」を開催し、十数名であった会員が、今では 60 名を超えています。道場は増床改装工事が完了し、面目を一新しています。

良い繋ぎ役に

中部支部理事長 **田中 修**（錬士六段）

令和 7 年度より、中部支部の理事長を務めることになりました。支部役員自体が初めてで、戸惑うことが多い中、周囲の協力を得ながら、

その都度、対処しつつ業務を進めている状況です。諸先輩方が築いてこられた仕組みを継承しつつ、改善すべきところは改善し、後継の方々に引き継いでいければと考えています。



私自身の弓歴は、五十の手習いということで、平成 12 年、鶴ヶ島市弓連の初心者弓道教室から始めました。その後、5 年ほど経過した時点で、海外勤務のため、累計で 5 年ほど弓道とは縁のない地域に赴任となりました。帰国後再開しましたが、海外に行く前のレベルに戻すのに、約 2 年かかりました。

リタイヤしてから弓道三昧の生活が送れるかと考えていましたが、地域活性化のためのボランティア活動に協力することになり、週 3 日はボランティア活動に、残り 4 日を弓道に充てるという生活を送ってきました。

最近は種々の雑事が増加し、思うように弓道をする事が出来なくなってきています。最近の練習量では現状維持がやっとで、技術向上が難しくなってきています。これをいかに対処して向上を目指すかが個人的課題となっています。

<競技・講習会>

●県民総合スポーツ大会支部予選会

令和 7 年 6 月 1 日(日) 日高アリーナ

参加 90 名

○称号者①日高 A(井上・吉田・井上)②鶴ヶ島 A(田中・小松・川手)③川越 A(川口・松本・白石) ○有段者①東松山 E(崎原・伊藤・嶋田) ②日高 B(國分・吉田・沼倉)③日高 A(深堀・川合・富田)

●西部地区高校 3 年生大会

令和 7 年 6 月 22 日(日) 日高アリーナ

参加 男子 158 名 女子 159 名

○団体男子①坂戸西 B(小林・黒川・吉永)②坂戸西 A(古川・松島・眞崎)③川越南 A(宮崎・町田・嶋田) ○団体女子①川越南 A(長島・田中・京極)②東農大三 B(新井・石塚・永峰)③星野 D(吉田・本郷・橋本) ○個人男子①小林②永田③吉永(全て坂戸西) ○個人女子①佐藤(坂戸西)②田中(川越南)③石上(武蔵越生)

●中部西部親善射会

令和7年6月28日(土) 日高アリーナ

参加 208 名

①須田明江(中部入間)③忠 聖人(中部日高)

●中部支部選手権大会兼讀賣新聞さいたま支局 杯争奪戦兼県武道大会選手予選会

令和7年7月20日(日) 日高アリーナ

参加 139 名

○団体の部①日高A(吉川・國分・忠)②入間B
(荒川・荒川・市川)③入間A(三反崎・川津・
須田) ○個人の部①長澤(狭山)②篠原(日
高)③國分(日高)

●県武道大会支部高校生予選会

令和7年8月20日(水) 日高アリーナ

参加 男子 219 名 女子 262 名

○団体男子①星野A(渋谷・藤波・バオキャン)
③坂戸西A(相羽・町田・柳) ○団体女子①
川越南A(金子・野口・半澤)②川越南B(佐々
木・小島・市村)③星野A(本郷・小長谷・竹内)
○個人男子①佐藤(飯能) ○個人女子①半澤
(川越南)②野口(川越南)

●第1回支部講習会(弐段以下)

令和7年4月21日(日) 日高アリーナ

参加 36 名

講師:市川政子、吉澤喜芳 各教士、田中 修
錬士

●第1回支部講習会(参四段)

令和7年4月26日(土) 日高アリーナ

参加 37 名

講師:廣松 弘、須田明江 各教士

●第2回支部講習会(四段以下)

令和7年7月6日(日) 川越武道館弓道場

参加 33 名

講師:千葉 公教士、川口えり子錬士

●第1回支部遠的研修会

令和7年9月20日(日) 県立武道館

参加 27 名

講師:井上 薫教士、井上昇午錬士

特 集 記 事

ねんりんピックの紹介と鳥取大会振返り

ねんりんピック鳥取大会(令和6年度)

埼玉県弓道選手団監督 三田 明

全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、厚生労働省が主催する60歳以上の高齢者を対象としたスポーツや文化、健康と福祉の総合的な祭典です。開催地は各都道府県が毎年持ち回りで行なっていて、今年の開催地は岐阜県で、来年は埼玉県で開催されます。

私は令和6年10月19日から21日に行なわれた「第36回ねんりんピック鳥取大会」の弓道交流大会に、埼玉県の代表選手兼監督として参加しました。鳥取大会の様子を振り返りながら、ねんりんピックと弓道交流大会について、紹介をさせていただきます。

ねんりんピックの競技は、県内の市町村に分散して行なわれ、昨年の鳥取大会では、ソフトボールやテニス、マラソン、弓道など23種目のスポーツ交流大会と、囲碁や将棋、俳句、民謡など6種目の文化交流大会が、各地の会場で行なわれました。また会期中には絵画や彫刻などの美術展や、健康相談コーナー、郷土のグルメ市・物産展なども同時に開催されました。

鳥取大会の弓道交流大会には、全国の都道府県、および政令都市から66チーム(429名)が参加して、米子市の鳥取県立武道館弓道場において、2日間に渡って競技が行なわれました。

参加チームは監督を含め最大8名まで可能で、選手には競技規則で70歳以上を1名以上、女性を1名以上を加えなくてはなりません。

競技は1チーム5人立ちの団体戦で、予選と決勝トーナメントの2部で構成されます。

予選は2回行なわれ、大会初日に1回目を四つ矢で行ない、2日目に2回目を一手引いて、2回の的中合計の多い順に、上位16チームが決勝トーナメントに進出することができます。

決勝トーナメントでは、始まる前に監督が集められ、番号札を引いて対戦チームを決めたあと、準決勝までは一手で、決勝戦は四つ矢で競います。各対戦での的中数の多いチームが勝ち上がれますが、同中の場合は各選手が1本ずつを引いて勝敗を決することになります。

また予選の的中数にはカウントされませんが、大会初日には予選に出場できなかった交代選手のために、交歓試合が行なわれ、皆中者には記念品が贈呈されました。

埼玉県でのねんりんピック参加選手の選考会は、毎年5月に行なわれる実年者弓道選手権大会に合わせて実施されており、昨年の鳥取大会に出場した埼玉県代表選手は、令和6年5月6日に行なわれた選考会で選抜された、加藤憲男（三芳）、原 彌八郎（所沢）、中村 薫（吉川）、高橋利夫（川口）、藤崎智子（熊谷公園）、圓子トキ子（春日部）、筆者（春日部）の7名でした。



チーム編成後は、大宮公園弓道場と県立武道館において、本番と同じ射候で6回の錬成会を行ない、お互いの錬度を高めるとともに、チームの意識醸成を図りました。

また早い時期にメンバーで話し合っ、予選のスターティング選手の決定と、競技には7名全員が出場すること、選手交代のタイミングは監督に一任することを決めました。

埼玉県選手団は大会前日の18日に羽田空港へ集合し、午後の便で鳥取へ向かい、当日は鳥取市内のホテルに宿泊して、翌日にヤマタスポーツパーク陸上競技場で行われる総合開会式に臨みました。

総合開会式は、ねんりんピック全種目の参加者が一堂に会して行なわれるため、1万人規模が収容できる大きな会場が必要です。

皇族の方がご臨席され、選手の入場行進、大会宣言、炬火点灯、各種のアトラクションが行われる予定でしたが、19日はあいにく大雨の悪天候に見舞われ、急遽体育館に式場を変更して式典が行われたため、一部の選手しか館内に入らず、大半の選手は外のテントで終わるまで

待つことになりました。

総合開会式終了後、選手団は弓道競技会場になっている米子市までバスで移動し、淀江文化センターで行なわれた弓道開会式と歓迎アトラクションに参加して、披露された淀江さんこ節などの郷土芸能を楽しみました。私はその後に行なわれた監督会議にも出席しました。

20日からいよいよ競技が開始され、各選手団は自分たちの立ち時間に合わせて、ホテルからシャトルバスに乗って、競技会場の鳥取県立武道館へ向かいました。武道館では選手控室に区割りされた埼玉県席で待機し、室内に設置された大型モニターで競技の様子を見たり、巻き藁練習をしながら自分たちの順番を待ちました。

召集がかかり予選1回目に臨んだ埼玉県は、的中数13中と好スタートを切ることができて、全員で喜んでいたところ、翌日に行なわれた予選2回目で思わぬ大ブレーキが掛かり、予選での的中合計が15中と、トーナメントへの進出が危ういラインになってしまいました。



予選が終わったあと、複数いる15中のチームからトーナメント進出を決めることになり、同中チームからの選出は、競技規則でチームの年齢合計が高い順に選ばれるルールになっていたため、埼玉県は15位とかなり下で決勝トーナメントに残ることができました。埼玉県はここで選手2名の交代を行なうことに決めました。

トーナメント1回戦の対戦相手は岡山県で6:4で勝ち、2回戦は浜松市で7:4で勝ち、準決勝は高知県と当たり4:4で同中になり、2回の競射を行なって決勝に勝ち進みました。

決勝戦では鹿児島県と対戦することになり、気持ちを奮い立たせて臨みましたが、残念ながら9:15で敗退してしまいました。

終わってみれば埼玉県の結果は準優勝という、予想もしなかった栄誉を手中に収めることができて、選手全員で喜びを噛みしめました。

選手の中には家族の方が応援に来てくれた人もいて、遠地まで足を運んでもらった甲斐がありました。

埼玉県がここまで勝ち残れたのは、不調な選手をお互いがカバーしあい、的中数を保てたことにあったと考えます。これぞ団体戦の理想の形と言えるような選手の働きでした。

後日選手を代表して埼玉県知事へ表敬訪問を行ない、鳥取大会の様子を大野知事に報告しました。知事からは、来年埼玉県で開催されるねんりんピックの気運を盛り上げ、参加選手の皆様に「楽しい大会だった」と感じてもらえる大会にしようとのお言葉をいただきました。



ねんりんピックは競技大会であると同時に、幅広く交流を深めることが目的の一つとされています。控えの時間に他県の選手と近況を語り合ったり、談笑したり、弓道の技術について意見を交わしたり、年齢が近いこともあって話も弾み、有意義な時間を過ごすことができました。

また、ねんりんピックで一緒に苦楽を共にした選手団の7名は、今でも心通じ合う仲間としてお付き合いをさせていただいております。

ねんりんピックを通して、大切な仲間や貴重な経験ができたことは、私にとってかけがえのない宝物となりました。

最後に本橋会長をはじめ、埼玉県弓道連盟の役員の皆様、錬成会でご指導いただきました故岡田先生、仲田先生、ご協力を賜りました各弓連の皆様に心より感謝を申し上げます。

編集後記 76号

76号では、来年秋に地元埼玉で開催が予定されている「ねんりんピック」を、特集しました。県内各地で開催される各種競技の内、弓道競技は上尾の県立武道館で開催されます。埼玉県弓道連盟では「ねんりんピック埼玉」(仮称)の各競技役員を定めて、岐阜県で開催された本年度の大会の視察をはじめ、既に準備に入っております。これからの一年間、各競技役員をはじめ皆様の積極的な協力をいただくことが必要となりますので、よろしくご理解ください。「若い時の一日は短く一年は長い。年を取っての一年は短く一日は長い」と言います。私自身、年齢を理由にのんびりとしているうちに、大会目前となって慌てることがないように、役員の一員として自分を戒めています。

ところで、ご覧いただいている「埼玉弓連だより」は現在4名の実務メンバーで制作しております。WORD等のパソコンが多少でもできる方であればOKです。印刷に関する知見がある方がおられましたら、より一層助かります。情熱を以て我々と一緒に活動をしていただける方がおられましたらご連絡いただければ幸いです。

今年はいろんな意味で世の中の変革が感じられる年でした。本誌が皆様のお手許に届く頃には、師走の慌ただしい雰囲気が巷にあふれ始めているころだと思います。このような時こそ、弓道で培った「平常心」を大切にしたいものです。

年末・年始の射会での皆様のご活躍を期待しております。

編集長 二見富士夫



画・松本 正

令和7年度上半期 高体連大会結果

<関東大会県予選> 4月18日(金)～20日(月) 大宮公園弓道場

男子団体 1位 正智深谷 2位 坂戸西 3位 川越南

女子団体 1位 大宮東 2位 正智深谷 3位 鳩ヶ谷

※男女各上位3校が関東大会出場

男子個人 1位 吉村奏人(慶應志木) 2位 斉藤優輝(伊奈学園) 3位 眞崎恵秋(坂戸西)

4位 窪田有希(正智深谷) 5位 今村太洋(越ヶ谷) 6位 金子四季(正智深谷)

7位 加藤 豪(所沢北) 8位 町田豊樹(川越南)

女子個人 1位 大熊海尋(鳩ヶ谷) 2位 黒澤琴音(正智深谷) 3位 日高 涼(草加東)

4位 太田梨々(所沢北) 5位 高橋絢美(滑川総合) 6位 大場芽衣(大宮南)

7位 佐藤里緒(春日部東) 8位 長坂香音(蓮田松韻)

※男女各上位5名が関東大会出場

<県高校遠的選手権> 5月3日(土) 熊谷さくら運動公園弓道場

男子個人 1位 宮崎 陸(川越南) 2位 窪田有希(正智深谷) 3位 鈴木 櫻(東農大三)

4位 前田涼翔(東農大三) 5位 加藤 豪(所沢北) 6位 松田 心(慶應志木)

7位 石田大和(秩父農科) 8位 横山士純(進修館)

女子個人 1位 田中美羽(川越南) 2位 戸田あゆみ(秩父農科) 3位 黒澤琴音(正智深谷)

4位 布施愛梨奈(秋草学園) 5位 高橋絢美(滑川総合) 6位 橋本恵菜(星野)

7位 高橋真綾(正智深谷) 8位 須藤ももか(草加東)

<国民スポ候補選手選考会> 5月4日(日) 熊谷さくら運動公園弓道場

少年男子 選手 前田涼翔(東農大三)、鈴木 櫻(東農大三)、窪田有希(正智深谷)

サポート選手 油座蓮音(花咲徳栄)

監督 石川雄一郎(正智深谷) コーチ 濱川志帆(東農大三)

少年女子 選手 田中美羽(川越南)、高橋絢美(滑川総合)、石上依吹(武蔵越生)

サポート選手 半澤美雨(川越南)

監督 古岡大路(川越南) コーチ 小此木利樹(滑川総合)

総合コーチ 山崎康太(大宮武蔵野)

<紫灘旗全国高校遠的弓道大会県予選> 5月11日(日)

男子団体 1位 東農大三 2位 秩父農工科学 3位 所沢北 4位 進修館 5位 川越南

女子団体 1位 星野 2位 川越南 3位 秩父農工科学

※男子は3～5位と推薦出場の東農大三、秩父農工科学、浦和が全国大会出場

女子は上位3校が全国大会出場

<第69回関東高等学校弓道大会> 6月7日(土) 8日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

男子団体 1回戦 坂戸西 13-12 慶應義塾(神奈川)

準決勝 坂戸西 14-17 佐原(千葉)

3位 坂戸西(小林真梧、安原春音、眞崎恵秋、吉永優斗、松島空良、永田哲也)

女子個人 3位 大熊海尋(鳩ヶ谷) 男子個人 2位 窪田有希(正智深谷)

<全国高校総体県予選> 4月26日(土) 27日(日)、6月14日(土) 15日(日) 21日(土)

大宮公園弓道場、日高市文化体育館弓道場、熊谷さくら運動公園弓道場

女子団体 1位 星野 2位 川越南 3位 鳩ヶ谷 4位 草加西

男子団体 1位 坂戸西 2位 大宮南 3位 正智深谷 4位 川越南

※男女各1位が全国大会出場

女子個人 1位 葛西萌心(草加西) 2位 新堀亜美(浦和東) 3位 野口真穂(川越南)

4位 石上依吹(武蔵越生) 5位 上原彩蘭(成徳深谷) 6位 布施愛梨奈(秋草学園)

7位 金子結栴(川越南) 8位 西脇果菜(久喜)

男子個人 1位 窪田有希(正智深谷) 2位 宮崎陸(川越南) 3位 百武 蓮(川口北)

4位 松島空良(坂戸西) 5位 山内壘希(熊谷) 6位 門井蒼汰(伊奈学園)

7位 鈴木颯斗(星野) 8位 吉村奏人(慶應志木)

※男女各上位2名が全国大会出場

<第70回記念全国高校総体弓道競技大会> 7月31日(木)～8月3日(日) 鳥取県立武道館

女子団体 1回戦 星野 12-13 倉吉西(鳥取)

男子団体 1回戦 坂戸西 16-13 塩尻志学館(長野)

2回戦 坂戸西 16-12 明石商業(兵庫)

準々決勝 坂戸西 15-12 崇徳(広島)

準決勝 坂戸西 16-14 首里(沖縄)

決勝 坂戸西 14-16 畝傍(奈良)

準優勝 坂戸西(小林真梧、眞崎恵秋、永田哲也、吉永優斗、松島空良、安原春音)

女子個人 7位 葛西萌心(草加西)

<関東個人選手権大会県予選> 8月7日(木) 8日(金) リプロ武道館(県立武道館) 弓道場

男子個人 1位 引間晴哉(秩父農科) 2位 鈴木 櫻(東農大三) 3位 吉田優馬(浦和)

4位 岡本颯介(浦和実業) 5位 波田喜多郎(浦和学院) 6位 町田豊樹(川越南)

7位 松島空良(坂戸西) 8位 江副洋司(川越総合) 9位 柳 晴喜(坂戸西)

10位 篠崎亮斗(春日部) 11位 相羽悠希(坂戸西) 12位 沼田廉勇郎(浦和実業)

13位 山本竜矢(正智深谷)

女子個人 1位 岡本愛香(大宮東) 2位 田中美羽(川越南) 3位 石上依吹(武蔵越生)

4位 森田あい(本庄) 5位 葛西萌心(草加西) 6位 小野寺凜々(浦和西)

7位 櫻井紗羅(栗橋北彩) 8位 京極万穂(川越南) 9位 今村美月(草加西)

10位 宮坂怜那(川越女子) 11位 棚橋透和(大宮東) 12位 館野絢香(越ヶ谷)

13位 本郷成琉(星野)

※男女各上位13名が関東大会出場

<第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会> A L S O K ぐんま武道館弓道場

少年男子 近的1位 遠的2位 総合1位

少年女子 近的4位 遠的3位 総合4位

※少年男子が国スポ出場

<第27回紫灘旗全国高校遠的弓道大会> 8月23日(土) 24日(日) 久留米アリーナ弓道場

男子団体 1回戦 川越南 10-7 鳴門渦潮(徳島)

準決勝 川越南 6-10 慶應義塾(神奈川)

3位 川越南

女子団体 1回戦 川越南 7-8 鹿児島工業(鹿児島)

星野 6-7 丸亀城西(香川)

5位 川越南、星野

<第44回関東個人選手権大会> 9月14日(日) 明治神宮至誠館第二弓道場

女子個人 5位 本郷成琉(星野)

男子個人 3位 松島空良(坂戸西) 5位 山本竜矢(正智深谷) 6位 町田豊樹(川越南)

【76 号大会入賞記録】

(「埼玉連だより」76 号 6 ページの参照データ)

●第 148 回明治神宮奉納遠的弓道大会

令和 7 年 5 月 3 日(土・祝) 明治神宮至誠館第二弓道場(遠的)

○四・五段の部：③清住洋恵(所沢) ○称号の部：④柿沼清孝(春日部)

●第 37 回埼玉県実年者弓道選手権大会兼全国健康福祉大会(ねんりんピック)県連予選会

令和 7 年 5 月 10 日(土) 大宮公園弓道場 参加 99 名

○埼玉県実年者弓道選手権大会：①大樂真健(記念)②出下晃一郎(朝霞)③松尾恒子(戸田)
④小日向勝美(駒場)⑤仲田孝雄(上尾)

○さいたま市代表選手：①小島修治(大宮)②森半一郎(大宮)③蓮見文子(駒場)④小日向勝美(駒場)⑤仲田孝雄(上尾)⑥須藤敦子(大宮)⑦筑紫武人(記念) 監督：星野久美子(大宮)

○県代表選手：①小川幸子(越谷)②出下晃一郎(朝霞)③松本瑞世(北本)④岡芹喜行(本庄)
⑤宮内 毅(越谷)⑥松尾恒子(戸田)⑦神 清貴(戸田) 監督：出下晃一郎(朝霞)

※上記代表選手は、全国健康福祉大会(ねんりんピック、於：岐阜県)に出場

●埼玉県弓道選手権大会(称号者の部)

令和 7 年 5 月 18 日(日) 大宮公園弓道場 参加 110 名

○称号者の部：①武政宏美(岩槻)②松寄恭子(所沢)③高木 渡(狭山)④大西いづみ(上尾)
⑤三好啓子(所沢) ○全弓連会長盾：松澤かおり(大宮)

※全日本選手権関東ブロック予選及び関東選抜選手権 2 次選考会へ男子 7 名・女子 7 名を選出

※三県選抜弓道選手権大会出場 5 名+補欠 2 名を選出

●埼玉県弓道選手権大会(有段者の部)

令和 7 年 5 月 24 日(土) 大宮公園弓道場 参加 220 名

○参段以下の部：①川合帯刀(日高)②奥田 紋(上尾)③福岡達紀(富士見)④堀川正雄(入間)⑤佐藤つよし(狭山) ○四・五段の部：①新里 陵(久喜)②濱里史明(川越)③高野 聖(久喜)④片山磨生男(岩槻)⑤村永政志(川口) ○全弓連会長盾：戸部美穂(駒場)

※関東選抜選手権出場(有段)：5 名+補欠 1 名を選出

※三県選抜弓道選手権大会出場 参段以下：5 名+補欠 1 名、四・五段の部：5 名+補欠 1 名を選出

●全日本選手権関東ブロック予選及び関東選抜選手権 2 次選考会

令和 7 年 6 月 7 日(土) 大宮公園弓道場 参加 1 次予選通過者

※全日本弓道選手権関東ブロック予選出場 ○男子：①高木 渡(狭山)②西崎明伸(入間)
③永島英男(所沢)④吉澤喜芳(啖啄) ○女子：①鈴木多恵子(吉川)②須田明江(入間)
③松澤かおり(大宮)④武政宏美(岩槻)

※関東選抜選手権出場(称号)：5名＋補欠1名を選出

●第72回全日本勤労者弓道選手権大会

令和7年5月30日(金)～6月1日(日) 青森県武道館 所沢市役所二次予選進出

●第37回埼玉県弓道遠的選手権大会

令和7年7月6日(日) 熊谷運動公園 参加123名

○男子四段以下の部：①中井義克(狭山)②坂本滉桜(上尾)③崎原大裕(東松山) ○女子

四段以下の部：①浅沼あゆみ(北本)②宮森いずみ(吉川)③松林華子(北本) ○男子五段

以上の部：①吉澤喜芳(啐啄)②青木 豊(行田)③長井敦史(熊谷公園) ○女子五段以上の

部：①藤井澄恵(越谷)②小林ミワ(上尾)③鈴木多恵子(吉川) ○総合優勝：吉澤喜芳(啐啄)

※全日本弓道遠的選手権大会(全弓連中央道場)へ出場 ○男子：吉澤喜芳(啐啄)長井敦史(熊谷公園) ○女子：藤井澄恵(越谷)小林ミワ(上尾)

●第24回明治神宮崇敬会全国弓道大会

令和7年7月6日(日) 明治神宮至誠館第二道場 参加67チーム、個人219名

○団体：②埼玉連Aチーム(佐藤さつき(大宮)、田口喜也(岩槻)、池田浩次(大宮)) ○個人

称号の部：③池田浩次(大宮) 参段以下の部：③小林雅子(駒場)④弓岡加奈(駒場)

射道優秀者：池田浩次(大宮)

●第68回三県選抜弓道大会

令和7年7月21日(月・祝) 秩父第一弓道場 参加82名

○個人戦 称号者：②高木 渡(狭山) 国スポ選手成年男子：③飯尾 弘(所沢)

●令和7年度全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会

令和7年7月27日(日) 全日本弓道連盟中央道場 参加80名

※全日本選手権派遣選手 ○男子：吉澤喜芳(啐啄) ○女子：松澤かおり(大宮)須田明江(入間)

●第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会

令和7年8月17日(日) ALSOK ぐんま武道館弓道場

○少年男子チーム、成年女子チーム 国民スポーツ大会(滋賀県彦根市)出場決定

●第63回埼玉県勤労者弓道選手権大会

令和7年8月31日(日) リプロ武道館(埼玉県立武道館) 参加296名

○団体：①上尾H(馬淵 誉、川口 治、坂本滉桜)②熊谷B(関口尚人、関口淳子、三澤一夫)

③上尾D(福田哲生、山下結希乃、大村孝也)③小川(伊藤謙吾、齊田恵子、井上孝子)

○個人：①井上陽介(日高)②相見 薫(記念)③清水慶一(記念)④掛川 玲(上尾)

⑤フビジエンヘザヤ(記念) 技能賞：清水慶一(記念)

●第66回関東地域弓道選抜選手権大会

令和7年9月14日(日) シンコースポーツ神奈川県立武道館弓道場

○大会賞 有段者の部：⑤新里 陵(久喜)(全日本弓道連盟賞も受賞)

●令和7年度全日本弓道選手権大会

令和7年9月19日(金)～21日(日) 全日本弓道連盟中央道場 参加 男子49名・女子48名

○決勝進出・優秀賞：松澤かおり(大宮)

●第79回国民スポーツ大会

令和7年9月28日(日)～10月1日(水) プロシードアリーナ HIKONE(滋賀県)

○少年男子チーム 近的：3位

前田涼翔(東京農大三)、鈴木 櫻(東京農大三)、窪田有希(正智深谷) 監督：石川雄一郎
(正智深谷) コーチ：信木公介(東京農大三)、山崎康太(大宮武蔵野)

●第61回全日本女子弓道大会(東日本の部)

令和7年10月12日(日) アルテンジャパン武道館弓道場(茨城県) 参加562名

○称号者の部：①初田美代子(桶川)③市川政子(入間)④片岡一子(大宮)

●第38回埼玉県民総合スポーツ大会

令和7年10月13日(月・祝) リプロ武道館(埼玉県立武道館) 参加119名(40チーム)

○近的団体 有段者：①川口 B(加藤徹也、高橋利夫、村永政志)②朝霞(武田健太郎、曾我雄介、花房実美)③春日部(吉田昭男、角南裕里子、各務勝洋) 称号者：①鶴ヶ島 A(田中 修、小松啓一、川手雅史)②さいたま市 D(山岸繭子、小澤伸江、仲田孝雄)③日高 A(井上昇午、吉田和美、井上 薫) ○近的个人 有段者：①花房実美(朝霞市)②各務勝洋(春日部市)③
崎原大裕(東松山市) 称号者：①川手雅史(鶴ヶ島市)②仲田孝雄(さいたま市)③島村保男
(鴻巣市) ○遠的団体 有段者：①川口 B(加藤徹也、高橋利夫、村永政志)②東松山 E(崎原
大裕、伊藤謙吾、嶋田 誠)③朝霞(武田健太郎、曾我雄介、花房実美) 称号者：①さい
たま市 E(生方美代、星野久美子、中村光弘)②所沢 I(関口研二、中村康代、下田 徹)③さい
たま市 D(山岸繭子、小澤伸江、仲田孝雄) ○遠的个人 有段者：①加藤徹也(川口市)②内
田 翼(秩父市)③村永政志(川口市) 称号者：①中村光弘(さいたま市)②脇本 緑(春日部
市)③下田 徹(所沢市)

●第37回全国健康福祉祭ぎふ大会 ねんりんピック岐阜2025

令和7年10月18日(土)～20日(月) 岐阜メモリアルセンター で愛ドーム(特設弓道場)

○さいたま市代表選手、埼玉県代表選手 各1チーム出場

●第76回全日本弓道遠的選手権大会

令和7年10月24日(金)～26日(日) 全日本弓道連盟中央道場 参加 男子93名・女90名

○決勝進出：藤井澄恵(越谷)

【76号大会写真】

●第61回全日本女子弓道大会(東日本の部)



上:① 女子大会水戸競技の様子
右:② 女子大会水戸表彰式の様子



●第38回埼玉県民総合スポーツ大会 [リプロ武道館(県立武道館)]



① 近的競技 有段者の部



② 近的競技 称号者の部



③ 遠的競技 有段者の部



④ 遠的競技 称号者の部